

## 送 辞

日毎に木々の芽がふくらみを増し、辺り一面、春のあたたかな光に包まれるようになりました。今日のこの佳き日に卒業式を迎えられた222名の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

さて、今皆様の胸の中には、この白岡高校を巣立ち、それぞれの夢に向かって新たに進んでゆくことの喜びや不安が募っていることと思います。それと同時に高校生活三年間の思い出が、まるで昨日のことのよう思い出されているのではないのでしょうか。

これまで先輩方には、日々の部活動をはじめ、体育祭やありの実祭などの行事等、学校生活の様々な場面において、多くのことを教えていただきました。その中でも、私の印象深く残っているのは、ありの実祭でのクラス企画です。趣向を凝らしたクオリティの高い企画が並び、どの企画からもその団結力の強さが感じられました。私はさすが三年生だなあと圧倒されてしまいました。先輩方は、いつも私達在校生の目標であり、先輩方をお手本に私達はこれまで歩んできました。

しかし、そんな先輩方と白岡高校で過ごせるのも今日が最後となりました。これから先輩方は、それぞれの将来の夢に向かって歩み始めます。決して楽な道のりではなく、様々な壁にぶつかって回り道をしたり、一步下がってみたり、時には困難に挫けそうになることもあると思います。そのような時は白岡高校で過ごした日々を思い出してみてください。ここで学んだことは、きっとどんな困難にも立ち向かい、乗り越えていける力になるはずです。そして、白岡高校で出会い、共に過ごした仲間や先生方を人生の宝として前へと進んでいってください。後に残る私達在校生は「白岡高校」というバトンをしっかりと受け取り、先輩方が守り育ててくださった伝統を受け継ぎ、より良い学校にするために努力を惜しまず、一步一步進んでいきます。今まで本当にありがとうございました。

最後に、卒業生の皆様が白岡高校の卒業生として、今後様々な分野においてご活躍されることを期待し、また皆様一人ひとりの未来が明るく輝かしいものでありますよう心よりお祈りして卒業に寄せる送辞とさせていただきます。

平成27年3月12日

在校生代表 横溝 彩